

令和8年度 四万十森林管理署の重点取組

令和 8 年 4 月

四万十森林管理署



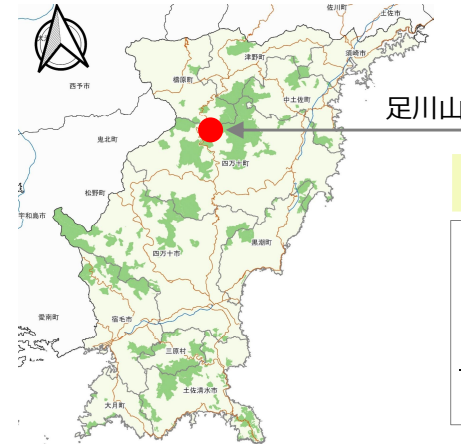
I 施業効率化・生産性向上に向けた取組の推進

①造林・保育作業の省力化・低コスト化

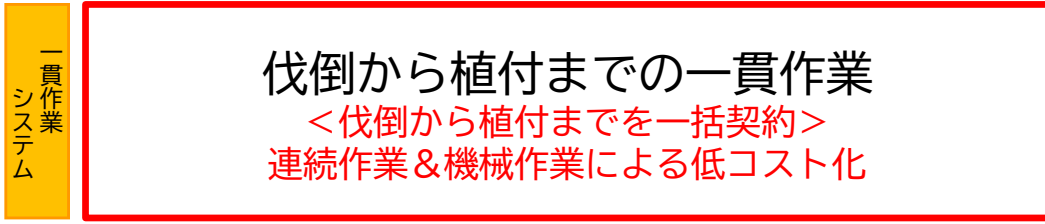
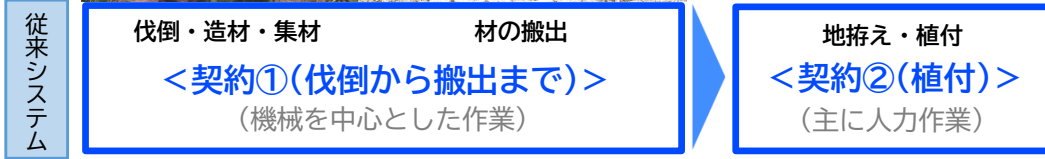
- ・ **伐採と造林の一貫作業システム** (立木販売と造林の混合契約) を、令和8年度は足川山で実施予定。
- ・ 下刈回数削減、獣害の軽減等低コスト再造林実現のための技術開発を実施。

■「伐採と造林の一貫作業システム」とは

- ・ 伐採から植付までを一括契約して連続して作業を行い、**林業機械を効率的に利用**することにより、低コスト化を進めます。
- ・ 具体的には、伐倒・造材・集材に用いたグラップルで枝条や端材を片付ける地拵え(じごしらえ)を行い、材の搬出に使ったフォワーダでコンテナ苗を運搬し、コンテナ苗を植え付けることで再造林に要する経費を縮減する取組です。



R8年度 実施箇所
四万十町 足川山
(10.11ha R8~R10年度分)
・ **組み合わせ作業種**
伐採搬出・地拵え・植付



■超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用(全局統一課題)

- ・ 低コスト再造林の実現に向けて、従来のコンテナ苗よりも伸長成長が見込める特定苗木を使用し、超緩効性肥料を併せて使用することで、初期成長を促進することによる下刈回数削減、獣害の軽減等、低コスト再造林実現に全局的な課題と位置づけ取り組んでいます。



試験地の概要
須崎市 朴ノ川山3205林班い小班
(4.6ha R7年度に試験地設定)
・ 開発期間: R7~12年度
・ R8年度より成長調査等を実施

(開発主体: 四国森林管理局 森林・技術支援センター)

- ・ 森林資源量の調査の効率化に向け、地上型3Dレーザスキャナを活用した調査を実施。
- ・ ドローンは、本署・森林事務所で計6台を保有しており、獣害防護柵の巡視、事業の進捗状況の把握、災害発生時の現地調査など様々な場面で活用。

■地上型3Dレーザスキャナを活用した立木調査



活用の効果

- ・レーザ照射により作成した3次元点群画像により、林内の様子をリアルに再現
- ・木の太さ、樹高、材積等の森林データの計測が可能であり、計測者による差が出にくい。
- ・機材一つで樹高等のデータを計測できることから、従来の人力による調査と比較し、調査にかかる人数や時間が削減

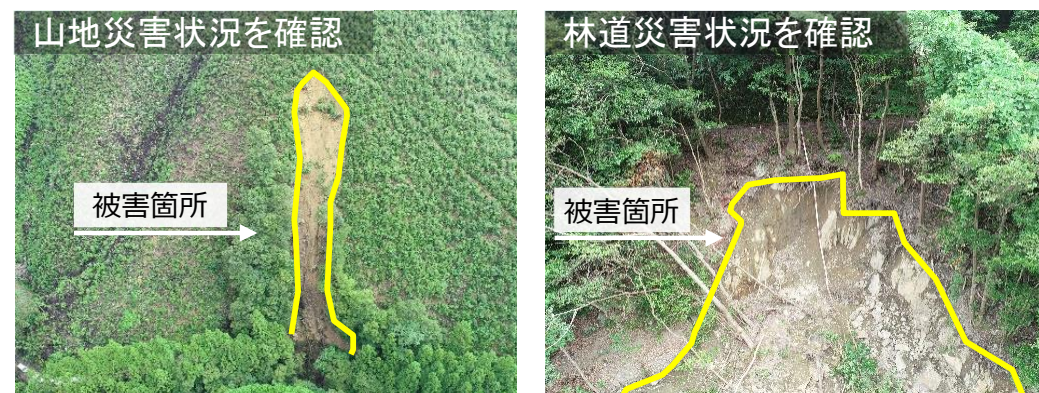
■ドローンを活用した各種業務の効率化



・従来の現地調査と組み合わせることで、省力化を実現

※苗木を食べるシカやノウサギの侵入を防ぐため、造林地に設置

・面積が広く、地上からでは進捗を正確に把握することが難しい場合でも、ドローンで上空から全体を把握することで、効率化及び精度が向上



・人が近づくと危険を伴う箇所や、地上からでは確認が困難な箇所も、問題なく確認、撮影が可能

Ⅱ 地域に貢献する国有林

①木材の安定供給への取組

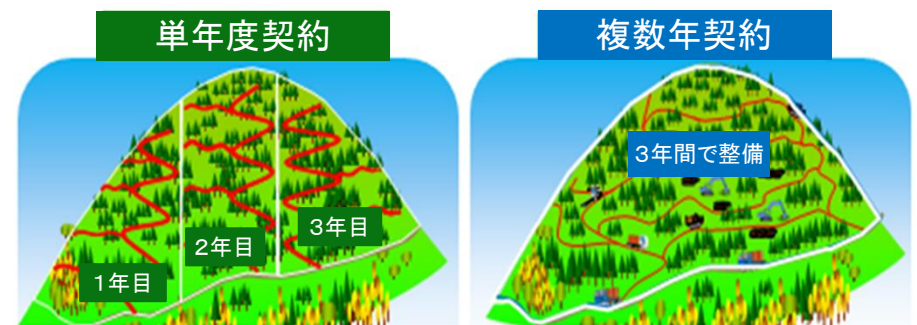
- 令和8年度は原木生産量**71,400m³**(R7年度: 71,400m³)を計画しており、**国産材を安定的に供給**。
- 四万十市竹島及び四万十町松葉川土場の中間土場を活用した**民有林と国有林の連携による国産材の安定供給を推進**。
- 林業事業者の経営安定に資するため、事業期間を2～3年にわたって発注する**複数年契約事業**を推進。
- 立木を一定期間(10年)、安定的に伐採できる権利(**樹木採取権**)を設定。

■ 原木の生産

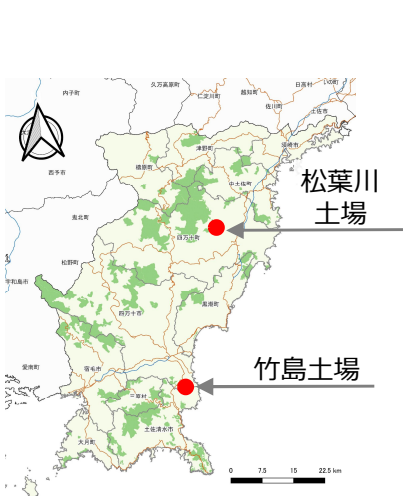


列状間伐を実施した森林

■ 複数年契約による森林整備(イメージ)



■ 中間土場(ストックヤード)の整備箇所



松葉川土場



竹島土場



■ 令和8年度 複数年契約及び樹木採取権

複数年契約:計9か所

- 四万十市 黒尊山(73ha R6～R8年度)
- 土佐清水市 上ミ今山(133ha R8～R10年度)※予定
- 四万十町 折合川山(68ha R6～R8年度)
- 四万十町 大中尾山(74ha R7～R9年度)
- 四万十町 足谷山(125ha R7～R9年度)
- 四万十町 森ヶ内山(50ha R8～R9年度)※予定
- 黒潮町 赤松続山(43ha R7～R8年度)
- 黒潮町 樋ノ谷山(61ha R7～R8年度)
- 中土佐町 島ノ川山(78ha R6～R8年度)

樹木採取権

※植付を含む

- 四万十町 四十畑山 (約9.03ha R7年度～)(2伐区)
- 中土佐町 下ル川山 (約4.95ha R8年度～)(1伐区)

Ⅱ 地域に貢献する国有林

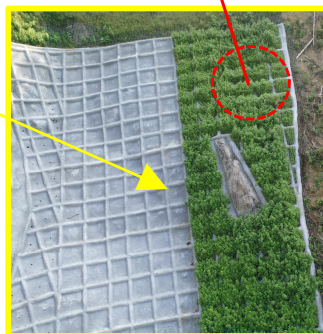
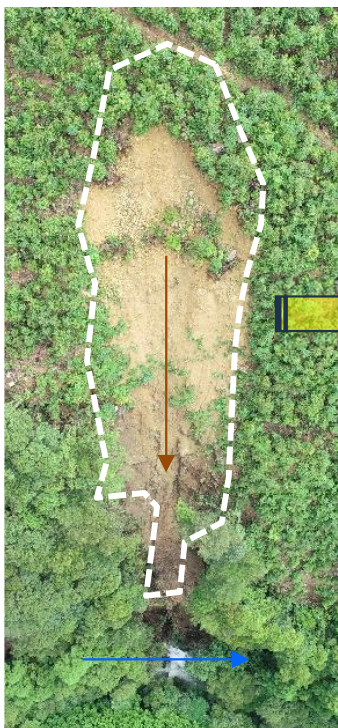
②地域の安全・安心を守る災害・治山対策の強化

- 豪雨等により被災した荒廃山地を早期復旧整備し、土砂流出の抑止や森林の保水機能の回復及び緑の国土強靱化や既存施設の機能強化・長寿命化への取組を推進。
- また、近年は大雨や短時間強雨の増加により、大規模、多発化している自然災害から地域の安全・安心を確保するため、令和8年度は5か所で治山事業を実施予定。

■土佐清水市の災害現場(上中山)

R5.8下旬 災害直後

R7.9期 山腹工事完成



- 当地は令和5年8月期の台風豪雨で山腹崩壊が発生し、森林の多面的機能(保水・土砂流出防止)が著しく低下したため、早期復旧が必要となりました。
- 本事業では、崩壊斜面の早期緑化や森林機能の復旧を目的に、令和6年9月～令和7年9月にかけて山腹工事を行い、森林機能の再生を加速させるとともに、下流域の保全を図ったところです。

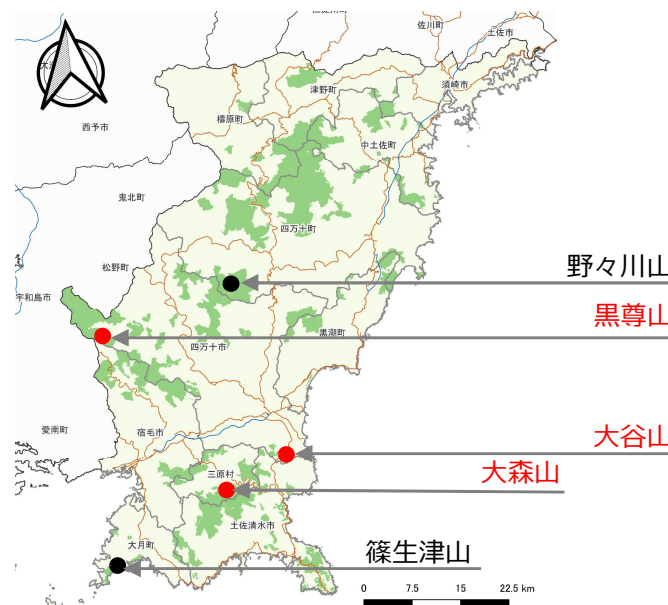
■令和8年度事業予定

予定箇所:計5か所

- 大森山(三原村)・黒尊山(四万十市)
- 大谷山(四万十市)
- 篠生津山(大月町)
- 野々川山(四万十町)

※下線は令和8年度新規地区

※赤字は令和7年度より繰越工事



Ⅱ 地域に貢献する国有林

③市町村の林務行政への技術的支援、地域の森林・林業を担う人材育成

- 市町村(幡多地区・須崎地区)の林務担当者を対象とした「森林・林業セミナーin四万十」を開催。
令和5年度からは高知県各林業事務所と連携して取り組むことにより、技術面の習得の他、情報交換を行い、国・県・市町村の連携の強化を図り各市町村の林務担当者の負担軽減に貢献。
- 林業技術に関する現地検討会や講習会を開催し、林業事業者等の技術力の向上や担い手の育成を推進。

■ 森林・林業セミナーin四万十(令和7年度実績)

地区	開催月	テーマ
須崎	R7年11月	低コスト造林の実現に向けた取組
	R8年2月	森林の見方(間伐に適した森林について)
幡多	R7年7月	森林事務所の業務及び管轄地域の概要 ※座学
	R8年2月	シカ・ノウサギの生態、被害対策

■ 令和8年度現地検討会の開催計画

予定月	テーマ	場所
R8年 12月	「長野山国有林における 保持林業」現地検討会	長野山国有林 (四万十町十和)

■ 現地検討会・講習会等の様子



「獣害対策の有無と植栽密度の違いによるシカ被害状況調査」現地検討会
(四万十町)



架線集材作業に関する
現地勉強会(津野町)



木材集材現場等の視察
(幡多農業高校)



架線集材に関する講習
(幡多農業高校)

須崎地区

第1回



第2回



幡多地区

第1回



第2回

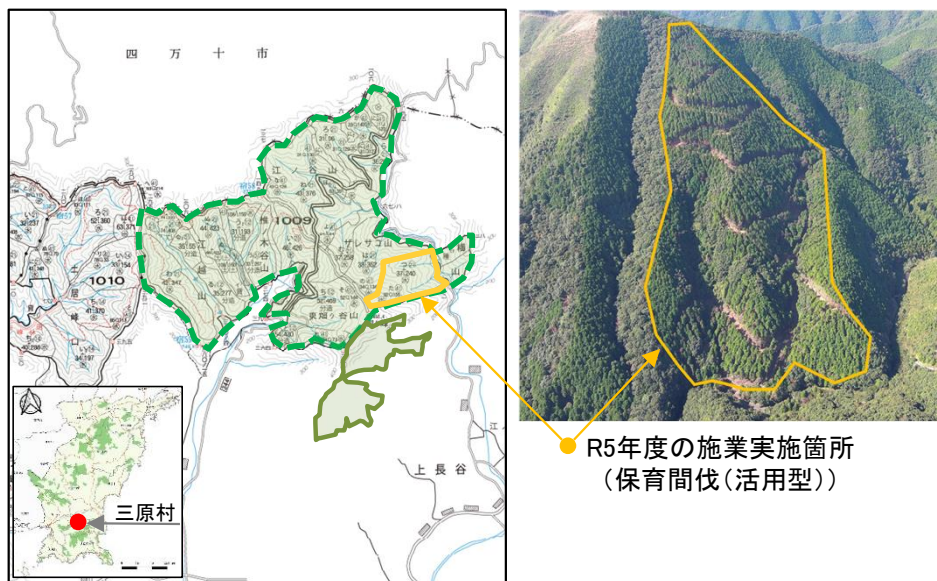


- ・ 水源確保や森林環境教育の活動推進等を目的に「**三原米の里多様な森林づくり活動**」を推進。
- ・ 松くい虫防除対策による**入野松原の保全**。
- ・ 安定的な資源確保に向けた「**土佐備長炭ウバメガシ資源確保プロジェクト**」の推進。
- ・ 自然災害発生時に迂回路として国有林林道等の活用。

■三原米の里多様な森林づくり活動(三原村)

- ・平成31年4月、三原米の水源を育む森林づくりや森林環境教育の活動推進等を目的に、三原村と四万十森林管理署において協定を締結し、課題の整理や改善対策等について検討しています。
- ・令和5年度は、協定ゾーン内において保育間伐を実施しており、今後も継続した森林整備に取り組みます。

「三原米の里多様な森林づくり」協定ゾーン



■入野松原の松くい虫防除(黒潮町)



入野松原
海岸林



薬剤の
地上散布

- ・黒潮町の入野松原を保全することを目的に、高知県、黒潮町、四万十森林管理署が連携し、毎年5～6月に薬剤の地上散布を2回実施しています。

- ・更には、毎年1月下旬～2月上旬に薬剤の樹幹注入を行い、2～3月頃に被害木の除去(衛生伐)を行うなど松くい虫防除対策に努めています。

■土佐備長炭ウバメガシ資源確保プロジェクト(大月町)



(右上)切株から萌芽した
ウバメガシ

(左上)ウバメガシ備長炭

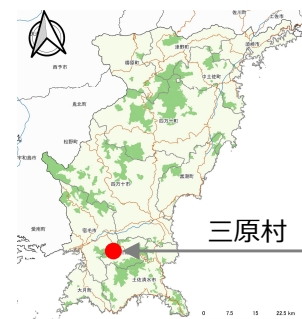
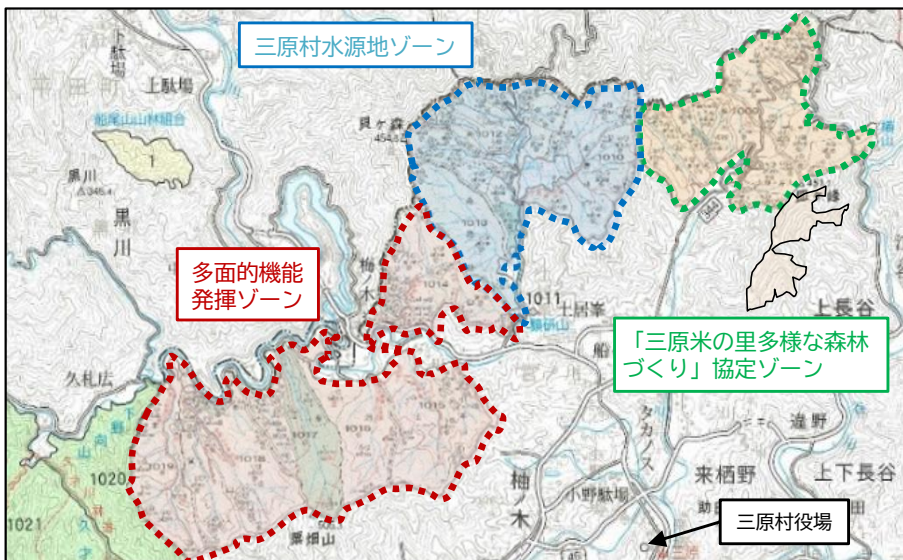
(左下)ウバメガシ植樹で
森林教室

- ・土佐備長炭の原料である「ウバメガシ」の確保に向け、地域と連携し国有林材の安定供給に努めています。また、老齢化したウバメガシ林の若返りをはかるため、萌芽更新の試験地設定や苗木の植栽にも取り組んでいます。

- ・ 多様な森林づくりを進める上での課題の整理や改善策等の検討を効率化することを目的に、多様な森林づくり“見える化プロジェクト”区域を四万十署管内の高知県三原村に設定。
- ・ ウバメガシやモミ・ツガ、コウヤマキの群落、希少植物であるヤッコソウの生息地を保全するため6か所の保護林を設定。
- ・ シカ、ノウサギによる深刻な被害に対応するため、各種対策に取り組むとともに、獣害対策費の削減を目的として、獣害対策の可否を検証するための試験地を新たに設定。

■ 多様な森林づくり“見える化プロジェクト”の設定

・森林の有する多面的機能の発揮を推進していくため、複層林への誘導を「見せる」、施業を実施する中での課題を「見える化」し、取組状況や改善点などの発信に努めています。



■ 希少植物保全のための取組

・佐田山ヤッコソウ(シイ遺伝資源)希少個体群保護林においては、環境省と連携し希少種であるヤッコソウを保全するためナラ枯れ対策を実施しています。



ヤッコソウ
(高知県RDB:絶滅危惧ⅠB類)



ナラ枯れの病原菌を媒介するカシノナガキクイムシを駆除

■ 獣害対策の推進

・シカ、ノウサギなどによる深刻な森林被害に対応するため、単木保護具や獣害防護網の設置、委託による捕獲事業の実施等に取り組んでいます。

・また、獣害対策に掛かる費用を苗木代に充て、高密度植栽を実施し、獣害対策を施さなくても成林が見込めるか検証するため、新たに試験地を設定しています。



単木保護資材による苗木の保護(三原村)

管内の事業&取組紹介

森林整備による森林づくり



木材の生産



林道の整備



山地災害の防止・復旧



生物多様性の保全



野生鳥獣害対策



病虫害対策



人材育成・技術支援

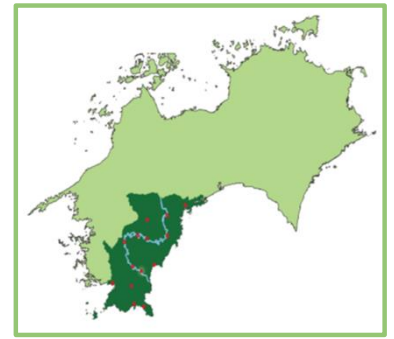


国民参加による森林整備

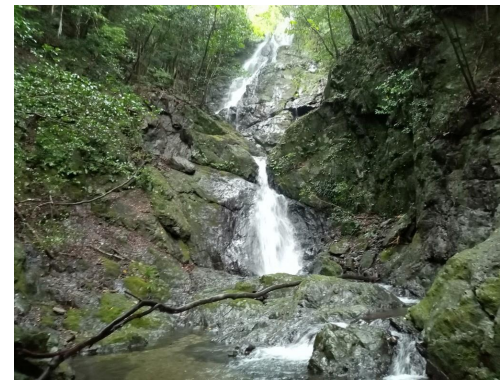


■ 本署・管内の森林事務所

■ 国有林



鷹取山生物群集保護林
(高岡郡栲原町)



播鉢轟の滝(すりばちとどろのたき)
(幡多郡黒潮町)

林野庁 四国森林管理局

四万十森林管理署

〒787-0003

高知県四万十市中村丸の内1707-34

TEL: 0880-34-3155

E-mail: shikoku_shimanto@maff.go.jp

